

県道一関北上線「下門岡バイパス」部分開通

北上総合支局土木部



撮影：(財)岩手県文化振興事業団埋蔵文化センター

平成14年度に事業に着手した、奥州市江刺区稲瀬の県道一関北上線下門岡地区道路改良(下門岡バイパス)事業は、地元の皆様のご理解とご協力により工事が進み、平成20年4月4日(金)午前11:00からバイパス区間を部分開通しました。

一部の道路・交差点については、遺跡発掘調査(H20.4~)後の工事までの間、未完成のまま(砂利道等)でご不便をおかけしますが、みなさまのご理解とご協力のほど、よろしくお願いいたします。

《路線と工区の概要》

県道一関北上線は、一関市の国道4号を起点とし奥州市江刺区を經由して北上市の国道107号を終点とする重要な幹線道路です。

この路線の整備が順次進む中、「下門岡地区」は未整備でしたが、周辺の工業団地の造成、企業の立地、沿道にある展勝地等の観光施設整備が進むなかで交通量が増大し、事故が多発するという状況に陥りました。

このため、県では車輛の円滑な通行と歩行者の安全確保を図るため、平成14年度から事業を導入しました。



(全体計画) H14~H21、(事業費) 1,316百万円
(延長) 2,100m、(計画幅員) 6.5(12.0)m
(車道 3.25m×2車線、歩道 2.5m)